

# アスベスト問題への対応状況

## ●石綿（アスベスト）問題への対応について

石綿問題は、製造事業所内の問題にとどまらず、従業員の家族や地域住民への被害が明らかになるにつれて、大きな社会問題となっています。市では、石綿問題への対応を総合的に推進するため、9月1日にアスベスト対策連絡会議を設置しました。現在、公共施設・民間施設・環境・健康の4つの専門部会で、公共施設等での石綿対策や建築物解体時の飛散防止対策などについて対応を進めています。

## ●公共施設の石綿使用状況調査

市では、公共施設における石綿および石綿含有ロックウールの吹き付け状況について調査をしています。その結果、全施設（262施設）のうち、石綿混入の可能性があると思われる吹き付け材の使用が37施設で確認されました。今後は、専門分析機関による分析調査を実施していきます。石綿の含有が確認された施設については、順次、除去などの対応を進めていきます。

## ●石綿取扱事業所について

現在、市内には石綿製品製造工場はありませんが、過去に次の2工場があったことが判明しています（2工場とも白石綿を使用）。なお、現在のところ、従業員および周辺住民の被害は報告されていません。

事業所名	所在地	使用期間	現況	内容
(株)ソーシン川越工場（旧(株)各和精機）	今福580	昭和45年～平成10年	廃止	自動車ブレーキ部品加工
国光石綿工業(株)	富士見町5-4	昭和28年ごろ～同51年ごろ	廃止	石綿糸・ブレーキ部品製造など

## ●建物所有者の皆さんへのお願い

現状においては、石綿含有吹き付け材が問題となります。特に鉄骨の建物・駐車場・ボイラー室・機械室などでは、耐火などを目的として石綿含有吹き付け材が使われていることがあります。石綿使用状況をもう一度確認し、吹き付け材の飛散などがないように、十分管理をお願いします。

また、建物を解体するときなどは、次の法律により解体作業や作業環境について規制がかかります。関係部署へ問い合わせてください。

法律名	内容	窓口
建設リサイクル法	建築物に係る解体工事など	建築指導課審査担当・TEL内線3245
大気汚染防止法	特定粉じん発生施設届け出・解体作業など	環境保全課大気保全係・TEL内線2623
石綿障害予防規則（労働安全衛生法）	作業環境・解体作業・従業員の健康被害など	川越労働基準監督署・TEL242-0891

## 石綿（アスベスト）Q&A

詳しくは、埼玉県のホームページ（<http://www.pref.saitama.lg.jp/>）をご覧ください。

### 石綿（アスベスト）とは？

石綿は自然の中に存在する非常に細い（太さは髪の毛の5,000分の1）繊維状の鉱物です。主に、青石綿・茶石綿・白石綿の3種類があります。高温に耐える、化学薬品に強い、断熱性や防音性に優れているなどの特性があり、工業材料として広く利用されてきました。

### 石綿の有害性について

大量に吸い込んだ場合には、15年～50年といわれる長い潜伏期間のあと、肺がんや中皮種などを発症するおそれがあります。青石綿・茶石綿は特に毒性が高く、平成7年に製造・使用禁止などの措置が取られました。その後、製品中に含まれて使用されたのは白石綿といわれる種類で、同16年に製造などが原則禁止されています。

### 石綿含有製品について

昭和45年から平成2年にかけて、多くの石綿が輸入されていました。この時期の建築物には、石綿製品が多く使用されています。石綿製品の9割以上が、壁材・屋根材・外装材などの建材製品です。吹き付け材とは違い、一般的には飛散しにくいいため、家庭内では特に心配はいらないと考えられています。石綿含有製品の確認については、それぞれの製造業者や建物等の施工業者へお尋ねください。

## ●石綿問題については、それぞれの専門部会で相談などを受け付けています

公共施設専門部会（公共建築物に関すること）…建築課・TEL内線3155

民間施設専門部会（民間建築物に関すること）…建築指導課・TEL内線3246

環境専門部会（環境・その他に関すること）…環境保全課・TEL内線2623

健康専門部会（健康に関すること）…総合保健センター・TEL229-4124

\* 廃棄物処理に関する相談は、産業廃棄物指導課・TEL内線2644で受け付けています。

### アスベスト対策連絡会議



# Hello! 姉妹都市

飛ぶ時間

国際交流課国際交流担当・TEL 224・8811 内線 2142

オッフエンパツハ市

八月二十二日から二十八日まで「平成十七年度オッフエンパツハ市訪問中学生交流団」に参加した上義義亮くん（川越西中学校三年）の感想文を紹介します。

日本に帰ってきてからの退屈感。今回のオッフエンパツハ市訪問が、どれほど楽しい七日間だったのかを意味している。飛行機に乗ることさえも初めてだった僕にとつて、異国の地でホームステイをし、普通の観光では味わうことができないであろう今回の研修は、とても興味深い経験となった。

お世話になったホストファミリーは、マルクスさんという一家で、ダビットとアランの兄弟は、簡単な英語しかわからない僕に、一生懸命にいろいろなことを教えてくれた。僕も積極的に日本の文化や川越のことを説明し、得意の折り紙も披露した。「くじや〜」を折って見せると、とても喜んでくれた。

今回の研修でいちばん印象に残っているのは、ホストファミリーと行ったリューデスハイム市の、山頂へ向かうゴンドラからの景色である。一面に広がるブドウ畑、遠くに見えるライン川の流れ。今でも胸の中に残っているその景色は、すばらしいものだった。

一週間という期間は、飛ぶように過ぎていった。最終日、僕はあふれる涙をぐつとこらえ、できるだけの笑顔でホストファミリーと別れた。

そして日本に戻ってきてしまった。残ったのは、何とも言えぬ切なさ、そして楽しい思い出。このすばらしい機会を与えてくださった人たちに、心から感謝したい。



ホストファミリーといっしょに

## 人権教育シリーズ 児童・生徒の作文④

教育指導課指導係  
TEL 224・8811 内線 2925

平成十六年度に川越市内の小中学生から募集した作文をまとめた人権文集「あけほの」から、作品を紹介します。

### わたしができること②

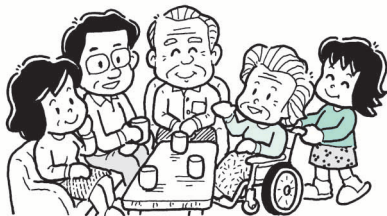


小学五年生  
一つ目は、家の中でおばあちゃんがトイレに行きたいとき、トイレの前まで連れていってあげる事です。トイレに入らせるのは、おじいちゃんとお母さんだけれど、おじいちゃんやお母さんが気がつかないときに教えてあげようと思いました。わたしも、いつか自分だけでおばあちゃんをトイレに入らせてあげられるようになりますかと思いました。

二つ目は、本や新聞を読みたいときにとつてあげたり、持つてきてあげたりすることです。おばあちゃんをよく本や新聞を読んでいたので、おじいちゃんが気がつかないときに持つてきてあげようと思いました。三つ目は、おばあちゃんによく話しかけてあげたり、おばあちゃんの部屋に行つてあげたりすることです。おじいちゃんは仕事をしているので、あまりそばにいてあげられません。だから、毎日おばあちゃんの部屋に行つて、学校の話や最近あったことなど、おばあちゃんもつと元気になるように話してあげようと思います。



今、わたしの家には業者さんに作つてもらつたスロップがあります。そのスロップは、おばあちゃんが転んでしまったんだん差に作つてもらいました。わたしは、家にもつとバリアフリーがふえてほしいと思います。そして、わたしはおばあちゃんが安全で楽しくくらするように、おばあちゃんの役に立つことをしていきたいと思います。



## おきな 翁の山車に木札を付けました!

9月25日、幸町（雪塚会）の山車に彫刻師・野本民之助義明の木札が飾り付けられました。木札は、民之助の娘・小坂部佳代さん（仙波町2丁目）が作り、幸町自治会に寄贈した物。「民之助の彫刻は、細部まで精密に細工されています。これからも山車を大切に引き継いでいくのが私たちの役目です」と幸町自治会長の岩崎昭九郎さん。木札を飾りつけたあと、木遣りと幸町囃子会による囃子が披露され、川越まつりに向けて気分が盛り上がりました。



木札の前で、小坂部さん夫妻と岩崎会長(右)

暮らし広がる  
地域の



自治会活動から